

公益財団法人日本郵趣協会

2026年度事業計画

【基本となる考え方】

公益財団法人日本郵趣協会（以下、「当協会」という）は、郵便切手類の歴史および郵便制度の研究（以下、「郵趣」という）を通じて、郵便切手文化の向上発展に資するとともに、その成果を未来へ継承し、心豊かで潤いのある社会の創造に寄与することを目的として活動している。2022年度より掲げてきた三つの基本方針——「郵趣の深耕」「郵趣のダイバーシティ拡大」「郵趣のバリアフリー化」——は、当協会の進むべき方向を示す指針として定着しており、2026年度においてもこれを継続し、より実効性ある施策として具体化していく。

当協会は長年にわたり日本郵趣界の発展と振興を牽引してきたが、2026年には設立80周年という大きな節目を迎える。この機に、80年の歩みの中で蓄積してきた知見と成果を次世代へ確実に継承し、今後の日本郵趣発展に資する基盤整備を進める。

1946年の設立以来、機関誌『郵趣』を継続発行し、その後1969年創刊の『フィラテリスト』、さらに『日本フィラテリー』『郵趣研究』へと専門研究誌を発展させてきた。これらの定期刊行物は、日本郵趣研究の中核として多くの成果を世に送り出し、「郵趣の深耕」を支える基盤となっている。80周年記念事業として、これらの記事・論文を横断的に検索可能とする「日本郵趣協会定期刊行物オンライン索引」を構築し、研究成果へのアクセスを飛躍的に高める。また、「日本郵趣協会フェロー制度」を新設し、日本の郵趣研究をリードしてきた会員を認定するとともに、今後も学術調査研究の推進と後進育成の中心的役割を担っていただく体制を整える。

「郵趣のダイバーシティ拡大」に向けては、1977年より開催している全国規模の展覧会「世界切手まつり STAMP-SHOW」を引き続き発展させるとともに、新たに手紙文化と文具をテーマとする「文具&手紙マルシェ」を事業化する。郵趣にとどまらず、手紙や郵便切手文化全体へと関心層を広げることで、新たな参加者層の開拓を図る。

設立100年を超えて日本郵趣界をリードし続けるためには、持続可能な財政基盤の確立が不可欠である。当協会は2025年度より「財政健全化3ヵ年計画」を開始し、初年度は概ね目標を達成した。STAMP-SHOWの収支改善およびタイムカプセル郵便の再開は、その具体的成果である。2026年度はこれらに加え、「文具&手紙マルシェ」を収益基盤強化の柱の一つと位置付け、計画2年目の着実な推進を図る。

あわせて、「会員力の増強」と「収益増加」を引き続き重点課題とする。「展覧会来場者促進&入会キャンペーン」を展開し、多様な郵趣の魅力を発信することで、幅広い仲間づくりを進める。登録支部・団体制度を通じて地域との連携を強化し、正会員が各委員会活動に参画できる仕組みを整備する。さらに、パートナー企業・団体との協働を広げ事業収益の多角化を図るとともに、正会員・維持会員への移行を促進し、財政基盤の安定を目指す。公益事業への貢献が顕著な個人および法人・団体に対しては感謝状等を贈呈し、その支援に報いる。

以上の諸施策を通じ、当協会は日本郵趣界の発展に一層貢献するとともに、公益法人としての責務を果たしていく。

I 公益目的事業

1. 普及啓発事業

万国郵便連合(UPU)加盟約190の国・地域から発行されている郵便切手類が持つ歴史、美しさ、芸術性といった文化的価値を広く社会一般に認識してもらうため、楽しみながら知ることのできる機会を創出する。また、郵便切手文化を次世代に継承するため、質の高い情報を積極的に提供するとともに幅広い分野で普及啓発活動や情報発信を実施する。

(1) 「全国ミニ切手展」キャンペーン

年間を通じて全国の郵便局、学校、博物館など公共施設を中心として、日本及び世界各国の郵便切手類を展示する「全国ミニ切手展」を開催する。特に4月の「切手趣味週間」(切手趣味週間の切手発行日から1週間)の期間はキャンペーンを実施するとともに、多数開催の個人・団体を表彰する。

(2) 「郵趣入門ガイドブック」

郵便切手類の入手・保存・楽しみ方についてわかりやすく解説した、「郵趣入門ガイドブック」の更新を行うとともに、コレクションの処分方法等の流通に関する新規版を制作する。全国規模の展覧会及び地方本部主催の展覧会において配布するとともに、公式ホームページに掲載して普及啓発活動を展開する。

(3) 切手ワークショップ

郵便切手文化を学び、触れる楽しみを広げ、その社会的プロセスを通じてSDGs(持続可能な開発目標)の考え方を理解してもらうため、切手ワークショップを開催する。実施テーマにあたっては、初心者の人でもわかりやすく、親しみのもてる内容等を選定する。

①切手ワークショップ「入門コース」「作品コース」

会場は切手の博物館(豊島区)とし、年6回程度の開催を予定。[日程は未定]

(4) 機関誌『郵趣』

郵便切手文化に関する幅広い情報の提供、郵便切手類及び郵便制度に関する文化的知見の普及を図るとともに、当協会の事業活動の報告等を公開して当協会への参加意識を高めるため、機関誌『郵趣』を企画・監修し、頒布する。

(5) 公式ホームページ、SNS

情報公開の重要性に鑑み、切手発行情報、展覧会、出版物及び文化シンポジウム等に関する最新情報を公式ホームページ及びSNSに適時掲載し、幅広く社会一般に公開、提供する。また、Web会議「オンライン郵趣」を開催し、リアルとデジタルを連動させたハイブリッド型の普及促進を図る。

(6) 全国郵趣大会

全国各地における郵趣活動の結びつきを図り、課題の共有・活用の推進を図るため、全国郵趣大会を開催する。併せて、功労者の顕彰、記念レセプションを開催する。

①全国郵趣大会2026in大阪(第44回)

会期：8月1日(土)・2日(日)、会場：OMMビル(大阪市)、企画・運営：関西地方本部

②全国郵趣大会2027(第45回)[準備作業]

会期：未定、会場：未定、企画・運営：中国・四国地方本部

(7) 切手のつどい

郵便切手文化に関する情報の発掘、収集を行うとともに、その結びつきを図り、地域市民の資源として共有・活用する基盤作りのため、誰でもが参加・交流できる「切手のつどい」を開催する。

①福山切手のつどい2026春

会期：5月17日(日)、会場：まなびの館ローズコム[福山市生涯学習プラザ](広島県福山市)、主催：中国・

四国地方本部、福山支部

②岡山切手のつどい2026

会期：6月27日(土)、会場：岡山国際交流センター(岡山市)、主催：中国・四国地方本部、岡山支部

③防府切手のつどい2026夏

会期：7月26日(日)、会場：防府市創業・交流センター[デザインプラザHOFU](山口県防府市)、主催：中国・四国地方本部、防府支部

④筑後地方切手のつどい2026

会期：8月23日[予定]、会場：小郡市生涯学習センター(福岡県小郡市)[予定]、主催：九州・沖縄地方本部、小郡支部

⑤福山切手のつどい2026夏

会期：8月23日[予定]、会場：まなびの館ローズコム[福山市生涯学習プラザ](広島県福山市)、主催：中国・四国地方本部、福山支部

⑥ギャラリートーク

会期：9月～11月[予定]、会場：アスピラート[防府市地域交流センター](山口県防府市)、主催：中国・四国地方本部、防府支部

⑦関西郵趣家のつどい2026(切手だいすき集まれ!!)

会期：11月21日(土)、会場：大阪市立社会福祉センター(大阪市)、主催：関西地方本部

⑧防府切手のつどい2027冬

会期：2027年1月24日(日)、会場：防府市創業・交流センター[デザインプラザHOFU](山口県防府市)、主催：中国・四国地方本部、防府支部

⑨北九州切手のつどい2027

会期：2027年2月14日(日)[予定]、会場：北九州国際会議場(福岡県北九州市)[予定]、主催：九州・沖縄地方本部、北九州支部

⑩広島切手のつどい2027

会期：2027年2月21日(日)、会場：広島南区民文化センター(広島市)、主催：中国・四国地方本部、広島鯉城支部

2. 展覧会事業

郵便切手類及び郵便制度に関する研究を発展させるとともに、作品を鑑賞することにより豊かな情操を養い郵便切手文化に理解を深めるため、展覧会を開催する。また、文化シンポジウム・イベント等を企画・実施してPR効果を高め、集客の増加を図る。

(1) 全国規模の展覧会

①世界切手まつり STAMP-SHOW2026

企画展示「さくら・桜・サクラ～切手で花を咲かせましょう～」展の開催、非競争切手展「郵趣MYコレクション展2026」の出品物を公募する。併せて、パートナー・サポート企業・団体と協働した企画イベントを実施するとともに、来場者促進キャンペーンを展開する。

会期：4月10日(金)～4月12日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、協賛：日本郵便(株)、(株)伊藤園、加藤憲G.R.S.(株)、(株)鼓月、(株)日本郵趣出版、(株)不二家、町田酒造(株)、協力：切手の博物館、郵政博物館、日本郵便切手商協同組合

②世界切手まつり STAMP-SHOW2027[準備作業]

広く一般の方々に郵便切手文化を身近なものとして楽しんでもらえるように開催テーマを設定し、企画

展示及び企画イベントの実施計画について運営準備を進める。また、協力いただけるパートナー・サポート企業・団体の協賛を募る。

会期：2027年4月[予定]、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)[予定]

③第61回全国切手展(略称:JAPEX2026)

企画出品「小判切手150年記念切手展」、「2026年日・フィリピン友好年(国交正常化70周年)記念フィリピン切手展」の開催、チャンピオン・クラス、伝統郵趣、郵便史、ステーションナリー、航空郵趣、テーマティック、ユース、文献、ワンフレーム、オープン、その他の全11クラスの競争出品を公募する。併せて、公式ガイドブックを制作して研究発表の成果を広く一般に公開するとともに、来場者促進キャンペーンを実施して周知を図る。

会期：10月30日(金)～11月1日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、後援：外務省、文部科学省、在日フィリピン大使館、東京新聞 [以上予定]、協賛：日本郵便(株)、(株)伊藤園、(株)鼓月、(株)日本郵趣出版、(株)町田酒造 [以上予定]、協力：(公財)通信文化協会、(一社)全日本郵趣連合、日本郵便切手商協同組合 [以上予定]

(2) 地方本部主催の展覧会

①STAMP-SHOW in広島2026

会期：4月25日(土)・26日(日)、会場：広島県立産業会館(広島市)、主催：中国・四国地方本部、スタンプショウ広島実行委員会

②STAMP-SHOW in横浜2026・第16回横浜楽しい切手展

会期：5月16日(土)・17日(日)、会場：かながわ県民センター(横浜市)、主催：関東地方本部、横浜支部、湘南郵趣の会、鎌倉郵趣会

③STAMP-SHOW in徳山2026

会期：6月[予定]、会場：徳山保健センター(山口県周南市)、主催：中国・四国地方本部、周南支部

④関西STAMP-SHOW2026

会期：8月1日(土)・2日(日)、会場：大阪マーチャングッズ・マートビル[OMMビル](大阪市)、主催：関西地方本部

⑤中部STAMP-SHOW2026in浜松 [併設:静岡県郵趣の集い2026 in浜松]

会期：9月26日(土)・27日(日)、会場：醍醐荘(静岡県磐田市)、主催：中部地方本部、浜松支部

⑥STAMP-SHOW inかごしま2026

会期：10月3日(土)・4日(日)、会場：サンプラザ天文館(鹿児島市)、主催：九州・沖縄地方本部、鹿児島支部

⑦STAMP-SHOW inはかた2026

会期：10月17日(土)・18日(日)[予定]、会場：サワラピア(福岡市)、主催：九州・沖縄地方本部、福岡支部

⑧STAMP-SHOW in高松2026

会期：11月14日(土)・15日(日)、会場：アイパル香川[香川国際交流会館](香川県高松市)、主催：中国・四国地方本部、高松支部

⑨大阪春の切手展2027 in 京セラドーム大阪スカイホール

会期：2027年3月6日(土)・7日(日)、会場：京セラドーム大阪スカイホール(大阪市)、主催：関西地方本部

(3) 展覧会への出品促進

競争出品を公募するコンクール形式の展覧会への応募促進を図るため、あらゆる機会を活用した周知活

動を行うとともに、公募前に出品物の添削・助言等を行い、審査結果発表後に出品者への助言の機会を設ける。

- ①郵趣MYコレクション展の応募ガイドの配布
- ②JAPEXルールブック(応募の手引き)の配布
- ③新規出品者の育成及び出品コンサルティングの実施
- ④クリティークの実施

(4) 公認審査員制度と審査員の育成

コンクール形式の展覧会において適正な判定と円滑な運営を行うため、公認審査員制度を活用して国内外の審査員の育成を図る。また、審査実務に関する郵趣セミナーを開催するとともに、世界の展覧会の潮流と審査の状況を有資格者と共有し、審査技術の向上と平準化を図る。

3. 出版事業

郵便切手類及び郵便制度に関する情報を社会一般に広く供するため、郵便切手類に関するデータ並びに郵便制度に関する学術研究を基に、各種出版物の発行及び監修を行うとともに、IT化のあり方を研究する。

(1) 定期刊行物の発行

- ①週刊速報紙『郵趣ウィークリー』週刊／50回発行
- ②郵趣専門誌『郵趣研究(The Philatelic Studies)』隔月刊／6回発行
- ③WEB版『世界新切手ニュース』月刊／12回配信
- ④WEB版『郵趣ウィークリー』週刊／50回配信
- ⑤WEB版『郵趣研究(The Philatelic Studies)』隔月刊／6回配信

(2) 切手カタログの監修

- ①『さくら日本切手カタログ2027』
- ②『ビジュアル日専 記念・特殊切手編1894-1945』

4. 学術調査研究事業

郵便切手文化に関する研究成果を広く社会一般に還元するため、活動事例紹介、研究発表会(ミニペックス)、郵趣カンファレンス、文化シンポジウム等を開催する。

(1) 研究会

専門分野別に研究会を設置して学術調査研究の充実・発展を図るとともに、未分野の研究会発足を促進するため、主として切手の博物館(豊島区)において月例会を開催する。また、オンライン月例会の開催を支援し、全国の専門収集家との交流、研究成果の共有に努める。

(2) 研究発表会(ミニペックス)

研究会による学術調査研究成果の発表会を「ミニペックス」と称して、切手の博物館(豊島区)において広く一般に公開する。研究発表会では、研究作品の背景と郵趣の本質を分かりやすく説明する作品解説等を実施する。[研究発表名は予定]

① アメリカ切手展2026 america'26

会期：5月9日(土)・10日(日)、研究発表：アメリカ郵趣研究会

② イギリス切手研究会切手展2026

会期：5月16日(土)・17日(日)、研究発表：イギリス切手研究会

③ 第39回昆虫切手展

会期：6月13日(土)・14日(日)、研究発表：昆虫切手研究会

④第15回世界の植物切手展

会期：6月26日(金)～6月28日(日)、研究発表：植物切手研究会

⑤第23回絵画切手展

会期：10月3日(土)・4日(日)、研究発表：絵画切手研究会

⑥Railpex2026

会期：10月17日(土)・18日(日)、研究発表：鉄道郵趣研究会

⑦JPS航空郵趣研究会展 AEROPEX2026 戦後の航空郵便75周年

会期：10月23日(金)～10月25日(日)、研究発表：航空郵趣研究会

⑧音楽切手展

会期：11月7日(土)・8日(日)、研究発表：音楽切手研究会

⑨第23回震災切手と震災郵趣展

会期：11月14日(土)・15日(日)、研究発表：震災郵趣研究会

⑩第11回関東郵趣サロン 楽しい切手展

会期：2027年1月22日(金)～1月24日(日)、研究発表：関東郵趣サロン研究会

⑪第19回聴覚障害者切手研究会切手展

会期：2027年2月6日(土)・7日(日)、研究発表：聴覚障害者切手研究会

⑫パソコン郵趣切手展2027

会期：2027年2月13日(土)・14日(日)、研究発表：パソコン郵趣研究会

⑬第18回テーマティック研究会切手展

会期：2027年3月6日(土)・7日(日)、研究発表：テーマティック研究会

⑭第24回ドイツ切手展Germania2027

会期：2027年3月13日(土)・14日(日)、研究発表：ドイツ切手研究会

⑮菊・田沢MINIPEX2027

会期：2027年3月19日(金)～3月21日(日)、研究発表：菊・田沢切手研究会

(3) 研究公開

郵便切手文化に関する研究事例、実践事例等の専門的知識・知見を幅広く共有するため、各専門研究会会報にとどまらず全国専門誌、ホームページ等を活用して公開発表する。

①研究公開『私の切手アルバム』

②研究発表『国別切手図鑑』

③研究発表『ここに注目収集のポイント』

(4) 郵趣カンファレンス

各専門分野の先進学術事例の調査研究を進めるとともに、その知見を相互に有効活用するため郵趣カンファレンスを開催し、出版物等を活用して学術事例を発表・公開する。

(5) 文化シンポジウム

講演会、パネルディスカッション、トークショー等の多様な形式により文化シンポジウムを開催し、知見の交換を図るとともに多くの人が参加できる機会を創出する。

(6) 展覧会助成

郵便切手文化に関する学術研究において、社会的要請及び将来の発展が期待できる研究課題の発表・公開に対して、展覧会助成を実施する。[会場はいずれも切手の博物館(豊島区)、展覧会名は予定]

① 切手フェスタ2026

会期：5月1日(金)～5月3日(日・祝)、主催：切手フェスタ実行委員会

② いずみ切手研究会切手展2026

会期：7月4日(土)・5日(日)、主催：いずみ切手研究会

③ なでしこ切手倶楽部展

会期：2027年1月29日(金)～1月31日(日)、主催：なでしこ切手倶楽部

(7) フェロー認定制度

5. 国際文化交流事業

日本と海外諸国・地域との文化活動の交流を図り、友好関係と相互理解を増進するため、自国の歴史・文化を伝える「小さな外交官」と形容される郵便切手類を通して、国際文化交流を推進する。

(1) 国際切手展における国際文化交流

国際切手展の視察、国際郵趣セミナー等の参加を通じて、海外諸国・地域の郵趣家とのネットワークの形成・強化を図るとともに、国際文化交流を契機とした新たな郵便切手文化の研究を推進する。

①国際切手展「MACAO 2026」への出品促進

会期：6月26日(金)～7月1日(火)、会場：ヘネチアン・マカオノコタイ・エキスポホール(中国・マカオ)

②国際切手展「PHILATAIPEI 2026」への出品促進

会期：11月19日(木)～11月24日(火)、会場：台北世界貿易センター(台湾・台北)

(2) 各国郵政機関及び海外郵政組織との協働による国際文化交流

海外郵政機関の協力を得て、文化イベント等を企画・実施してPR効果を高め、国際文化交流の活性化に努める。

①オンライン国際カンファレンス

②「2026年日・フィリピン友好年(国交正常化70周年)記念フィリピン切手展」

会期：10月30日(金)～11月1日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)

6. 流通促進事業

文化的及び歴史的資料として貴重な国民的財産である郵便切手類を拡散・劣化させることなく、次世代へ着実に継承するため、流通促進事業を実施する。

(1) 流通促進の基盤整備

郵便切手類の偽造品・変造品の不正流通を防止するため、情報をデータベースとして蓄積するとともに、郵便切手文化の保全と健全なる市場の形成を図り、広く利用者の便宜性と拡大に努める。

(2) 文化インフラの構築

郵便切手文化を広く一般社会に敷衍するとともに、郵便切手類への不当な投機的流通を防止し、郵便切手類の価値の公正化を図るため、その文化インフラを構築する。

①コレクション処分市制度

②使用済み切手&書き損じはがきの募集及び社会的活用

7. 顕彰事業

日本及び世界各国の郵便切手類及び郵便制度に関して、その普及啓発並びに学術研究に貢献した功労者(個人及び団体)を顕彰し、郵便切手文化の振興と水準高度化を図る。

(1) 選考

各授賞要項に基づき各選考機関を設置するとともに、選考基準に基づき授賞者を選考する。

①第47回中島健蔵・水原明窗記念賞

- ②国際大賞（トレーシー・ウッドワード記念賞）
- ③第46回郵趣活動賞（個人部門、団体部門）
- ④第46回郵趣文献賞
- ⑤第43回小倉謙賞
- ⑥第41回住野正顕賞
- ⑦第6回手嶋康賞
- ⑧登録支部・団体50周年特別表彰

(2) 授賞式

選考結果は機関誌『郵趣』及び公式ホームページにおいて公開するとともに、授賞式は公開で実施する。

8. 社会貢献・地域支援事業

パートナー・サポート企業・団体との協働により広く社会一般に貢献する事業を行うとともに、登録支部・団体及び公益活動への支援を行い、ボランティアの醸成と創造性豊かな人材育成に取り組む。

(1) 「手紙を書こう！プロジェクト2026」

あらゆる世代において郵便切手文化に触れ合う機会を創出し、手紙コミュニケーションの楽しさを体験してもらうとともに、生き生きとした心豊かな社会の実現を目指す。そのため、日本郵便(株)をはじめとした多様なパートナー・サポート企業・団体の協賛を得て実施する。

①タイムカプセル郵便

募集期間：2026年4月1日(水)～2027年3月31日(水)

②文具&手紙マルシェ2026

会期：4月10日(金)・11日(土)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、特別協賛：日本郵便

③文具&手紙マルシェ2027[準備作業]

会期：2027年4月[予定]、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区) [予定]

④ゆうびんde自由研究・作品コンテスト2026

作品発表会：8月30日(日)、会場：切手の博物館(豊島区)[予定]、後援：文部科学省、(公社)日本PTA全国協議会、全国市町村教員委員会連合会、全国連合小学校長会、日本私立小学校連合会、豊島区教育委員会、読売KODOMO新聞[以上予定]、特別協賛：日本郵便、協賛：(株) デサント、リソー教育グループ (TOMAS、伸芽会・名門会) [以上予定]

⑤「Letter Park」、切手デザイナーとの連携

⑥「切手の博物館」手紙プロジェクトとの連携

A. Otegamiフリマ

B. 切手バザール

(2) 登録支部・団体への支援

郵便切手文化の普及の担い手である市民文化活動の振興を図るため、登録支部・団体制度を活用して連携・強化を図り、各地域における自主的活動や特性を發揮しながら効果的な事業が推進できるように支援する。

①研究発表の支援及び広報協力

②展覧会及び切手教室への助成

(3) ボランティアの醸成

郵便切手文化に関する理解と関心を高めてボランティア活動への市民参画の促進を図るため、体験情報を発信し、支え合いの輪を広げる仕組み作りを推進する。

①郵趣のための押印講習会（技能認定制度）

- ②展覧会運営ボランティアの公募
- ③臨時郵便局運営のためのゆうメイト技能育成

(4) 公益活動への支援

様々な主体の参加を通して協働を促進する活動、営利を目的としない自主的・自発的な社会貢献活動である公益活動を担っている団体への支援を行う。

①第8回全国切手展スタンペックス・ジャパン2026

会期：2027年3月[予定]、[主催：(公財)通信文化協会、(特非)郵趣振興協会]

②第30回目白ロードレース

会期：2027年3月[予定]、[主催：目白ロードレース実行委員会]

9. 公益事業資金の造成

郵便切手文化の向上発展に資するとともに未来に継承する公益事業資金造成のため、幅広く多くの方々から寄付を募るとともに、益金は広く社会一般に還元する事業のために充当する。

- (1) 財政安定化寄附金(一般寄附金)
- (2) STAMP-SHOW2026寄附金(特別寄附金)
- (3) JAPEX2026寄附金(特別寄附金)
- (4) STAMP-SHOW2027寄附金(特別寄附金)
- (5) 特別寄附金の表彰制度(特別表彰、マルチプル表彰、メジャードナー表彰)

Ⅱ 管理部門

1. 会員事業

情報提供サービスの充実と会員のサポートが図れるような施策を実施し、そのメリットを高めていくことにより、会員の維持・拡大を図る。

(1) 会員の維持・拡大

当協会の事業を紹介した入会案内リーフレットを制作して、新規会員獲得に向けたキャンペーン施策を強化する。また退会防止に向けて、魅力ある会員サービスを積極的に提供する。

①春の入会キャンペーン&WEB会員入会キャンペーン(さくら日本切手カタログ、STAMP-SHOW)

②秋の入会キャンペーン&WEB会員入会キャンペーン(JAPEX)

③ご移籍のお願いキャンペーン(普通会员から正会員、正会員から維持会員への移籍のお願い)

④『正会員会報』月刊/12回発行

(2) 会員情報管理システムの整備

会員情報を組織的に適正に管理するためより強固なデータ保護体制を構築するとともに、クラウド環境へ移行することにより業務の効率化を図る。また、電子決済の拡大により事務の簡素化・効率化及び情報提供サービスの高度化を推進する。

2. 交流事業

心豊かな潤いのある社会創造の理念に基づき、会員相互の交流と親睦を深めるとともに、郵便切手文化を国民の資源として共有・活用できる基盤作りを強化する。

(1) 新春交歓会

①東京・新春交歓会2027

会期：2027年1月9日(土)[予定]、会場：東京都内、主催：関東地方本部

②大阪・新春交歓会2027

会期：2027年1月11日(月・祝)、会場：大阪キャッスルホテル(大阪市)、主催：関西地方本部

(2) 郵趣大会

①東北郵趣大会2026in庄内

会期：5月30日(土)・31日(日)、会場：若葉旅館(山形県酒田市)、主催：北海道・東北地方本部、鶴岡支部

②関東郵趣大会2026in草加

会期：6月28日(日)、会場：アコス草加(埼玉県草加市)、主催：関東地方本部、草加支部

(3) コミュニティ通貨「フィラ」

お金では表せない「善意」を交換するコミュニティ通貨「フィラ」の普及拡大と流通促進により、ボランティア活動の活性化を図るとともに、郵便切手文化サービスの循環によって生き生きとした心豊かな社会を実現する。